



原子力発電と放射能のゴミのこと

🌱 原発はクリーンって聞いたけど？

とんでもない。産業廃棄物なんてくらべものにならないほど毒性の強い放射性廃棄物という放射能をもつゴミがたまります。そして、点検や補修のたびに労働者が放射能被爆しています。

🌱 放射能のゴミって？

そのゴミは高い放射能をもっていて熱を出し続けているのです。だからチェルノブイリのような事故が起こってそれが原子炉から環境中に出たら取り返しがつかないことになります。

🌱 放射能のゴミってどのくらい出るの？

佐賀の玄海原子力発電所4基・1年間で広島原爆の約3000発分の放射能をもつゴミがたまります。このゴミから放射能の毒性が消えるまでにおよそ3万年かかるといわれています。日本中の原発でこのゴミがたまり続け、置き場に困るようになって来ました。

🌱 いったいどうするの？

国はガラスに溶かして固めたものを地下に埋めようと計画していますが、どこの国もやったことのないこと。技術的に確立されたものではありません。

🌱 ピンチはチャンス！

私たちの考えは、こんな放射能のゴミを出す原発を止めていくこと。
(ここ数年で冷蔵庫やクーラーなど電気製品の省エネがすすんできました。だから、夏場のピークを乗り越える工夫をすれば、古くなった原発から順次止めていくことが出来るはずです。)放射能をもつゴミは当分原発敷地内で静かに冷やし保管しつづけること。見えないところに押し込んでしまったらいったん漏れ出した時に手がつけられないことになってしまうからです。

私たちは電気を使ってきました。しかし、ゴミ問題を知らせないまま、原発に頼る発電を続けてきた国の責任こそ問われるべきものです。自治体に押し付けることはその問題をまたしても先延ばしにしまいます。出来たゴミを何とかしなければという発想は、本当の解決にはつながらないのではないのでしょうか。放射能をもつゴミを引き受ける自治体が名乗りを上げたら、それを理由に原発はどんどんゴミを出し続けてしまいます。それは未来の子ども達へ「放射能をもつゴミ」という負の遺産を際限なく押し付けていくことです。

私たちの子どものそのまた子どものそのまたまた子ども…その未来の子ども達のために私たちはこう考えています。